CALREC

APOLLO

ARTEMIS

Shine

Beam

Light

最新の DSP、Bluefin2 DSP による強大なチャンネル処理能力と比類ない安定性。
多様化する環境に余裕を持って対応する、放送用デジタルミキシングコンソール。

Bluefin2 DSP を搭載した、CALREC デジタルコンソールのフラッグシップモデル“APOLLO”と、その能力をコンパクトに凝縮した ARTEMIS の 2 機種をラインナップ。さらに ARTEMIS は、プロセッシング数と機能の異なる ARTEMIS Shine/Beam/Light の 3 モデルを用意。

※詳しい性能の違いは、リーフレット中面の【機能比較表】でご確認ください。

従来の CALREC Bluefin デジタルコンソールの約 2 倍の処理能力を備えた“Bluefin 2 DSP”を搭載し、圧倒的な処理能力を獲得。最大プロセッシング数 * 全てに 6 バンドフル・パラメトリック・イコライザー (周波数可変)、ダイナミクスプロセッサーを使用しながら、同時にプログラムバス、マルチトラック /IFB バス、AUX バスへのルーティングが可能。

▼APOLLO:　1,020チャンネル

▼ARTEMIS Shine:　640チャンネル

▼ARTEMIS Beam:　340チャンネル

▼ARTEMIS Light:　240チャンネル

ユーザーの使い勝手を新たなレベルへ引き上げる革新的な操作性。

・最新鋭のマルチカラー有機LED、TFTタッチスクリーンを採用。
・APOLLOは最大160フェーダー、ARTEMIS Shine/Beamは最大64フェーダー、ARTEMIS Lightは最大56フェーダーまで拡張可能。
・マルチオペレーターや大規模シーンに対応するフレキシブルなモニタリングシステム。
・APFL出力とモニタリングシステムは独立して各3系統出力可能。
・充実の12デュアルレイヤー構成。
・アサイナブルモード、チャンネルストリップモード(ワイルドモード)に対応。

大規模システムにも対応する Hydra2 ネットワークシステム。

・8192×8192クロスポイントルーター搭載。
・全ての入出力はHydra2ネットワークシステムを経由。
・様々な用途に対応するHydra2対応I/O BOXを各種用意。
・[コントロールサーフェス]～[DSPラック]～[Hydra　2対応I/O BOX]間は、CAT5eまたは光ファイバーケーブルで接続。
・レイテンシーが少ない高品位設計。
・ネットワーク上のI/Oは、複数のコンソールで共有可能。

放送用途に相応しい、最高水準の安全性。

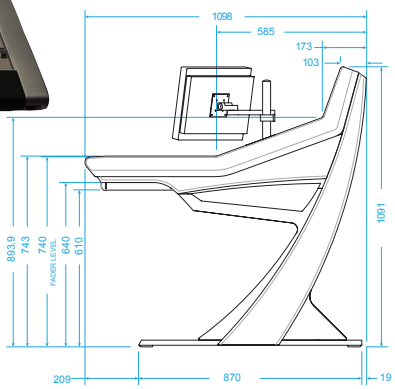
・PSU、Bluefin 2 DSP、コントロールプロセッサー、ルーターモジュール、I/O拡張モジュール、オーディオリンクケーブル、コントロールリンクケーブルの全てに、クラス最高水準のオートマチックリダンダントシステムを搭載。
・モジュールは全てホット・スワップ対応。コンソールの運用に影響なく、モジュールの取り外しが可能。
・コンソールはPCに依存せず独立してオペレートできるため、PCの故障時やリセット時でも放送に支障なく運用可能。
・オーディオ信号を途切れさせることなく、PCおよびコントロール・サーフェスのリセットが可能。
・膨大な信号処理機能が集約できる高性能Bluefin 2 DSPカード、最新鋭の有機LEDの採用により低消費電力・低発熱を実現。

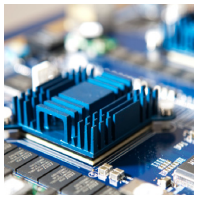
APOLLO

多様化する放送環境に余裕を持って対応する、CALREC デジタルミキシングコンソールの最高峰

■メインまたはグループ出力で使用可能な128系統のプログラムバス。
- **メイン出力**:最大16系統(モノラル、ステレオまたは5.1chサラウンドメインバスで構成)
- **グループ出力**:最大48系統(モノラル、ステレオまたは5.1サラウンドグループバスで構成)

■96系統のマルチトラック/IFBバス。
■48系統のAUXバス。
■総計約78分の入出力ディレイ(2.73sec×1728モノリソース)。





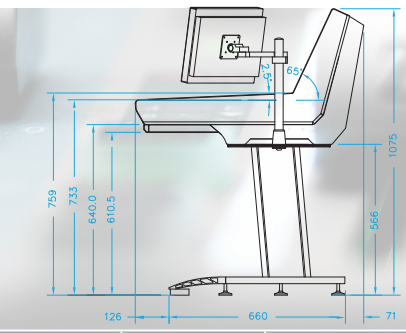
モジュール	フレーム	サーフェイス最大幅
6.5 (48 fader)	2, 2.5, 2	1,748mm
7.5 (56 fader)	3,2.5,2	1,998mm
8.5 (64 fader)	3,2.5,3	2,248mm
9.5 (72 fader)	2,3,2.5,2	2,504mm
10.5 (80 fader)	2,3,2.5,3	2,754mm
11.5 (88 fader)	2,3,2.5,2,2	3,010mm
12.5 (96 fader)	2,3,2.5,3,2	3,260mm

ARTEMIS

上位機種 APOLLO の高い音質と、優れた処理能力をコンパクトに凝縮。

■プロセッシング数が異なるARTEMIS Shine(最大640ch)、ARTEMIS Beam(最大340ch)、ARTEMIS Light(最大240ch)の3種類をラインナップ。
■メインまたはグループ出力で使用可能な128系統(Shine/Beam)、72系統(Light)のプログラムバス。
- **メイン出力**:最大16系統(モノラル、ステレオまたは5.1chサラウンドメインバスで構成)
- **グループ出力**:最大48系統(モノラル、ステレオまたは5.1サラウンドグループバスで構成)

■64系統(Shine/Beam)、48系統(Light)のマルチトラック/IFBバス。
■32系統(Shine/Beam)、24系統(Light)のAUXバス。



モジュール	フレーム	サーフェイス最大幅
5.5 (40 fader)	3.5, 2	1,593mm

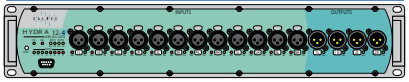
※上記は 40 フェーダーモデルのサーフェイス最大幅です。
最大 64 フェーダーまで拡張可能です。

■機能比較表

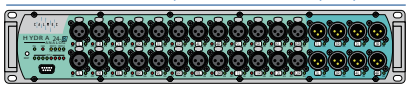
	APOLLO	ARTEMIS Shine	ARTEMIS Beam	ARTEMIS Light
チャンネル数	1020	640	320	240
プログラムバス	128			72
- メイン出力	最大 16 系統（モノラル、ステレオ、5.1ch）			
- グループ出力	最大 48 系統（モノラル、ステレオ、5.1ch）			
トラックバス	96	64		48
AUX バス	48	32		24
ミックスマイナスバス	4			
APFL システム	各 3 系統			
モニタリングシステム	3 系統			
ダイレクト出力	最大 512			最大 256
インサート	最大 256			最大 128
入力ディレイ	2.73S × 256 リソース			
出力ディレイ	2.73S × 256 リソース			
チャンネルディレイ	2.73sec/ チャンネル			
トラック送出@チャンネル	4			
EQ/ フィルター	6 バンドパラメトリック、可変			
サイドチェーン EQ/ フィルター	2 バンドパラメトリック、可変			
ダイナミクス（Unit 1）	コンプレッサー / リミッター、エキスパンダー / ゲート			
ダイナミクス（Unit 2）	コンプレッサー / リミッター			
DSP	外部ラック			
ルーターポート	16/32			8
最大フェーダー数	160	64		56
レイヤー	12 デュアルレイヤー			

■ I/O システム

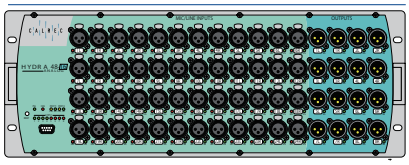
12 MIC/LINE INPUTS, 4LINE OUTPUTS (XLR)



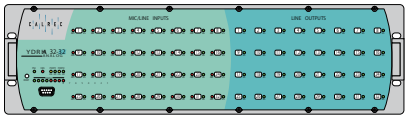
24 MIC/LINE INPUTS, 8LINE OUTPUTS (XLR)



48 MIC/LINE INPUTS,1 6LINE OUTPUTS (XLR)

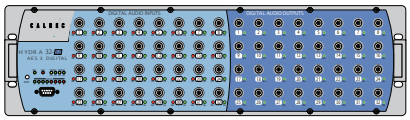


32MIC/LINE INPUT,32LINE OUTPUT BOX (ELCO)



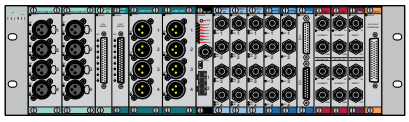
16 AES INPUTS,4 1 6 AES OUTPUTS (BNC)

32 AES INPUTS,32 AES OUTPUTS (BNC)



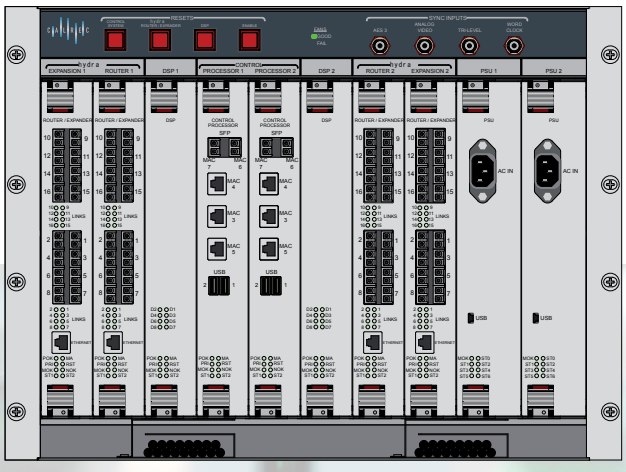
MADI UNIT

MODULAR STAGE BOX

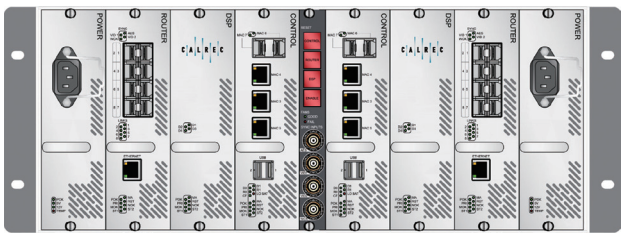


·4×Mic/Line In(XLR)
·8×Line In(DB37)
·4×Line Out(XLR)
·8×Line Out(DB37)
·4×AES3 In(BNC)
·4×AES3 Out(BNC)
·8×AES3 In/Out(2×DB25)
·Dual SDI De-embedder(BNC)
·Dual SDI De-embedder with Dolby E Decoding(BNC)
·Dual SDI Embedder(BNC)
·8×GPI & 8×C/O GPO(DB50)

■ DSP ラック（8U: APOLLO、ARTEMIS Shine/Beam）



■ DSP ラック（4U: ARTEMIS Light）

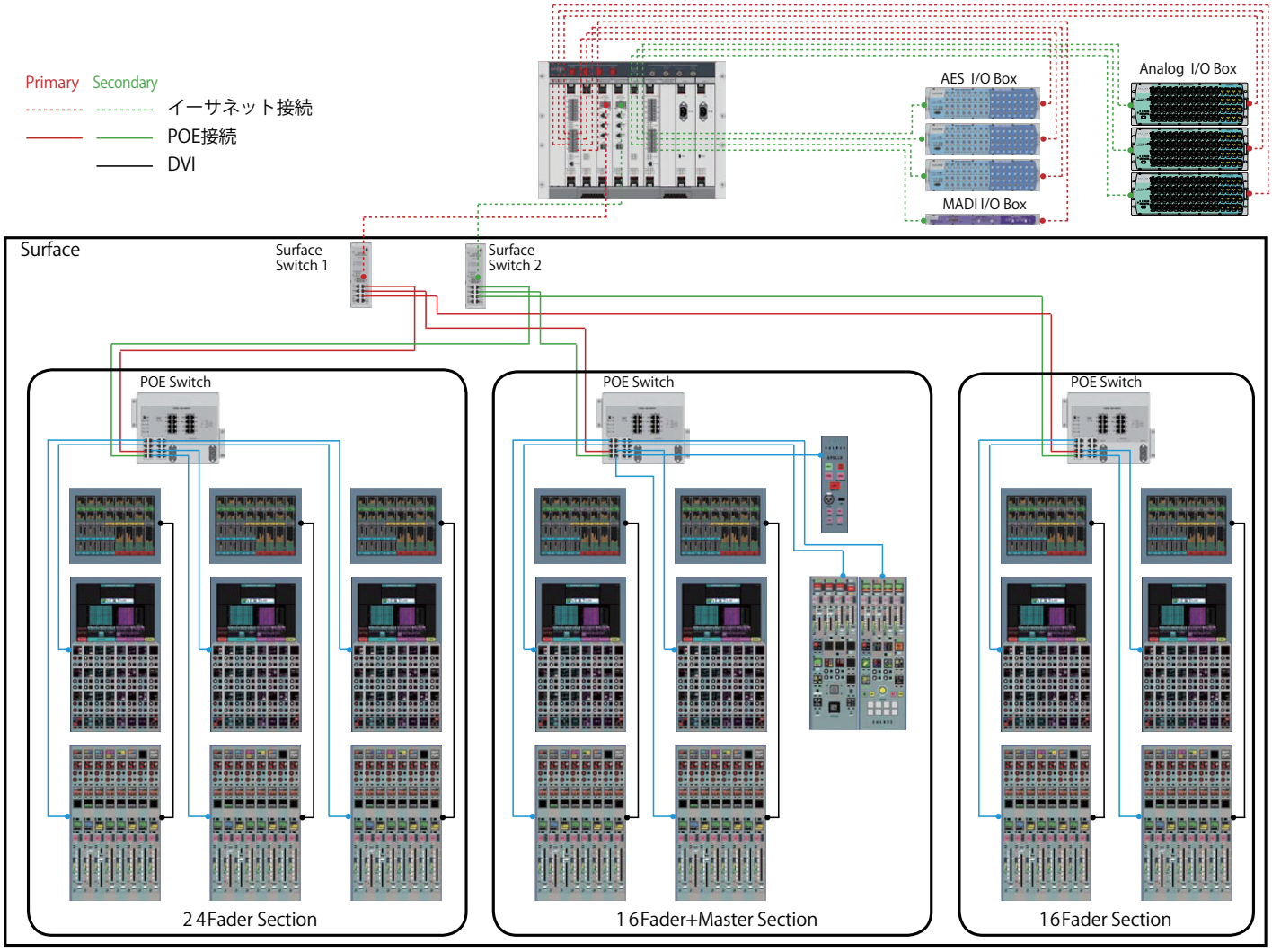


■仕様

デジタル入力		
	フォーマット	AES/EBU(AES 3)、24bit SPDIF(IEC958 Type2)信号にも対応
	インターフェース	110Ω、トランスバランス、5V Pk-Pk 75Ω、アンバランス、BNC、1V Pk-Pk
	SRC	24bit　全デジタル入力で切替可能。
	SRC THC+N	−117dB@1kHz、0.00014%
デジタル出力		
	フォーマット	AES/EBU(AES3)、24bit
	インターフェース	110Ω、トランスバランス、4V Pk-Pk(110Ω負荷時) 75Ω、アンバランス、BNC、1V Pk-Pk
アナログ入力		
	ADコンバーター	24bit
	入力形式	電子バランス
	入力インピーダンス	マイクゲイン：1kΩ以上 ラインゲイン：10kΩ以上
	感度	マイク/ライン入力：+18/−78dB ライン入力：+18/−24dB
	等価入力ノイズ	−127dB(150Ωソース)
	歪率	0.003%以下、−1dBFS@1kHz 0.006%以下、−20dBFS@1kHz 0.3%以下、−60dBFS@1kHz
	周波数特性	マイク/ライン入力：20Hz〜20kHz、±0.5dB ライン入力：20Hz〜20kHz、±0.25dB
	入力CMR (Common Mode Rejection)	ライン入力：70dB以上 マイク入力：75dB以上

アナログ出力		
	DAコンバーター	24bit
	出力形式	電子バランス
	出力インピーダンス	40Ω以下
	歪率	0.006%以下、−1dBFS@1kHz 0.003%以下、−20dBFS@1kHz 0.3%以下、−60dBFS@1kHz
	周波数特性	20Hz〜20kHz、±0.25dB
パフォーマンス		
	デジタル入力〜デジタル出力 (AES/EBU)歪率	0.002%以下、−1dBFS、20Hz〜10kHz
	デジタル入力〜デジタル出力 (SRC)歪率	0.005%以下、−1dBFS、20Hz〜10kHz
	アナログ入力〜アナログ出力 周波数特性	20Hz〜20kHz、±0.5dB
シンク		
	48kHz	NTSC/PALビデオ、 TTLワードシンク、 AES/EBUデジタル入力、 内部シンク

■システム例



●このカタログに掲載されている製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
●製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。
●このカタログの掲載内容は2012年11月現在のものです。仕様および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
●このカタログに記載されている商品名、会社名等は、各社の登録商標または商標です。

HIBINO
http://www.hibino-intersound.co.jp/

ヒビノインターサウンド株式会社
〒108-0075　東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3880　FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp